

日本語の勉強中!

3か月前に中国から
来日した高飛さん

巻頭特集

国際性豊かな

まちづくりをめざして

江南市国際交流協会

江南市古知野町の住宅街の中にある
「ふくらの家」。

ここは、母国を離れて江南市内で暮らす外国人と
地域の人々の笑顔があふれる場所だった。

国際交流活動

地域の人たちに各国の文化
を教える活動も行っている

SOSカード

緊急時に状況を伝えたり
助けを求めるためのもの

紙芝居

出身国(ブラジル・フィリピン・中国・ペルー・韓国・マレーシア・パキスタン・バングラディシュ・ベトナム・モンゴル)に伝わる昔話を紙芝居に。児童館、図書館、おとしより向けサロンなどで上演

ふくらの家スタッフ

(左から)
佐野さん・早瀬さん・ナンジーさん・前畑さん

平成27年
12月23日に
行われた
クリスマス会の様子

日本からの出し物
“とじょうすくい”に
大ウケの子どもたち

様々な国の言葉で
“メリークリスマス”と
言いながら
サンタさん登場!

母国の昔話
“紙芝居”を
子どもたちが披露

いろいろな国の子どもたちが
一緒に取り組む出し物“ダンス”

参加者が
持ち寄った
各国の家庭料理が
ズラリと並ぶ

日本で暮らす
多くの外国人が抱える
問題とは

現在江南市には34か国約1500人も外国人が暮らしている。仕事や結婚の機会に來日、江南に生活の拠点を置いた人が多いというが、やはり彼らの前に大きく立ち上がる壁が。言葉や文化の違いだ。私たち日本人が当たり前に思う価値観も、当たり前になっていく習慣も、彼ら外国人にとっては未知であり、理解しがたいことが多々あるという。逆に地域の人たちも外国人の振る舞いが理解できないこともある。それはお互いにどんな文化があり、どんな習慣があるのかを知らないからだ。そんな外国人が他の地域の人たちと同様に江南市民として生活できるようにサポートしたり、外国の文化を地域に広め交流の橋渡しをしているのが「江南市国際交流協会」である。

江南市国際交流協会は平成7年に設立され、江南在住のブラジル、ペルー、中国国籍の外国人を含む7人で発足した。「日本について学んだり、いろんな話ができる場所が

理解できない親もおり、学校生活に支障を来す子どもも多かったとか。そんな子どもたちのために、ふくらの家では下校後の子どもたちを集めた日本語の習得や宿題のサポートをしたり、子どもを持つ親には必要なものがどんなものなのか教えたりの揃えてあげる手助けをしてきた。またあるときは税金の振込用紙を持って「これ何?」と訪ねてきた外国人もいたという。保険や税金などの制度についての認識がない人は案外多く、そんな人には税金とは何か、どうして払わなければならないのかを教える一方、受け取ることができる手当などがあることも伝える。日本で暮らしていくために必要な義務と、恩恵を受けることができる権利があることを伝えるのも早瀬さんたちの役目だった。

外国人も江南市民の一員!

早瀬さんらの地道な活動が始まって20年が過ぎ、江南に住む外国人にも地域全体にも最近変化を感じると早瀬さんは言う。ふくらの家が先輩外国人から後輩外国人に自分の知識や経験を伝える場となっ

ほしいという声があがったのがきっかけです。」と話すのは、設立当初から活動を支えているソーシャルワーカーの早瀬裕子さん。発足当初は学校や公民館などの施設を借りて活動していたが、地元の方の好意により空き家を貸してもらえ、こととなり、活動拠点の場として平成17年10月に「ふくらの家」をオープンした。

毎日20〜30人も人が訪れるというふくらの家には生活相談員が5名、日本語指導スタッフ5名と10名のボランティアスタッフがローテーションで彼らを迎えている。日本語を習いに來る人、悩みを相談に來る人、用事はないけどふらっと遊びに來る人など様々だが、江南で暮らす外国人が抱えている深刻な問題のひとつは子どものことだという。

実はふくらの家がオープンした10年ほど前は、平日の昼間なのに外で遊んでいる外国人の子どもが多かったそう。「学校へ行けばお金がかかる」「いじめられる」「言葉がわからないから勉強についていけない」という理由で、一方、学校へは行っていないものの、授業が必要とする持ち物や行事案内が書かれた日本語が

ていることもあつてか日本の文化や習慣、地域住民として必要な制度を把握・理解した外国人が増えてきた。と同時に外国人に対して偏見のような目を持っていった地域の人が減り、むしろ同じ地域の人として関わりを持つ人が増えてきた。生活相談員の配置など行政の協力も得られるようになったり、国際交流協会の活動に共感する人が増え、今では会員が370名を超えるまでに

なった。「外国人も地域住民の一員です。日本人と外国人の壁をなくし、互いに認め合えるようになれるといいですね」と早瀬さんは語る。そのためにもさらに多くの方にいろんな国の文化を知ってもらわなければならぬ。多文化共生が進む中で、今後江南はさらに魅力あるまちづくりが進んでいくのではないだろうか。



【取材協力】
江南市国際交流協会 ふくらの家
江南市古知野町古渡142-2
TEL&FAX (0587) 56-7390